

ほっこう

甲府市立北新小学校
2015. 3. 19
No. 12
発行：校長室

みんな輝いています

早いもので明日は卒業式です。22名が学舎を巣立ちます。卒業式の練習風景を見ていますと、堂々としていて、凛とした空気が漂っています。先日、6年生の授業に参加する機会がありました。6年生一人一人が「卒業を前に思うこと」の発表の授業でした。「空手で礼儀を学びました。指導員、世界で通用する選手になりたいです。」「みんながいつも安全に通れるように、道路整備の仕事につきたいです。」「みんなに支えられています。一番感謝したい人は家族です。」「自分の意見をしっかり言える大人になりたいです。」など、夢や思いを主張していました。できそうでできないのが自分の思いや考えを正確に伝えることです。6年生一人一人は自分の考えをしっかりと伝えることができ、成長の証を感じました。5年生以下の児童もできることが着実に増え、一回りも二回りも大きく成長することができました。登校してくる子どもたちを見ていますと、みんな輝いています。一人一人が輝くことができたのも保護者の皆様、地域の皆様のご支援やご協力の賜と感謝しております。ありがとうございました。

6年生今までありがとう

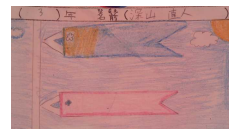
2月27日（金）に、「6年生を送る会」が開かれました。今年のテーマは、「6年生今までありがとう、思い出いっぱいの6送会」です。感謝の気持ちを伝える学年発表、どの学年も内容や発表に工夫があり、ありがとうの気持ちをしっかりと届けていました。「6年生って、かっこいいね」「6年生って、やさしいね」「6年生って、すごいね」「6年生って、がんばりや」「6年生って、楽しいね」の言葉が印象に残っています。6年生から在校生への発表は、1年生から6年生までの思い出に残る場面の寸劇と「翼をください」の合唱でした。笑いあり、感動ありの寸劇に心をうばわれていました。歌声も心に残るすばらしいものでした。各学年から出された学校に関する質問に答えるクイズ大会、心をこめて完成させた在校生からの色紙のプレゼント、後輩にたくした児童会旗の引き継ぎも行われ、最高の思い出を心に刻むことができました。この思い出を心の礎として大きく羽ばたいてくれると確信しています。6年生今までありがとう、そして頑張れ。





中央花壇に春の花が

土作り、種まき、黒ポットへの植え替え、水やりなどの多くの人の手をへて育てられたパンジー、ビオラ、キンセンカ、セキチク、ロベリア、アスター等の苗が中央花壇に定植されました。今回の春花壇のテーマは「春の空になびくこいのぼり」です。早く大きく泳ぐ雄大な姿をみたいです。花づくりに関わっていただきました老人クラブ、フラワーボランティアの方々に感謝申し上げます。来年度もまたよろしくお願ひします。



尚古園へ行ってきました

3月11日（水）に、美化委員会の児童が尚古園へ行き、花の苗植えをしました。尚古園の方に「毎年のことですが、ありがたいことです。」と言っておられました。地域に恩返しすることができてうれしい限りです。これからも周りの方々の役に立てるような活動を続けていきます。



心豊かに

片足の全米レスリング選手 アンソニー ロブレス氏の言葉

この世に生を受けた人間は
脚が1本であれ2本であれ
困難に立ち向かわなければならない
どう生まれたかではなく
どれだけ価値のある者になれるか
逞しくあれ可能性を高めよ
その為に痛みが伴おうとも
私は不満をこぼす事はないだろう
私の魂は屈する事はない
どんな敵に立ち向かおうとも
恐れることはない
私は自分の可能性を知っているから

この世に生を受けたものは、皆平等です。大切なことは形ではなく、どれだけ心を豊かにできるかだと思います。心を磨くことこそ生きる意味があるのではないのでしょうか。

～編集後記～

学校からの情報発信の一つとして発行しました「ほっこう」も第12号で今年最後となりました。子ども達の時々の様子をたよりにしました。今後の子ども達の成長を願ってやみません。子ども達の笑顔に励まされた1年でした。ありがとうございました。

三神 寿男